

○中学生への話 その2

前回に引き続き、昨年3月に青海中学校2学年に話をした内容の3つのキーワード「分」「公共」「覚悟」のうち、今回は「公共」について取り上げてみます。

「公共」=社会一般（の人々に関すること）

【公共心】私利にとらわれず、公共の利益を優先させようと心がける気持

=自分だけの都合だけを考えず、廻りのことを考えること（知らない人も含めて）

→ 一人で生きているのではない

誰でも自由に出入りできる場所は全て「公共」の場であり、自分がしている行為で一般社会の人々に不快感を与えることは適切ではありません。＝「一般常識」が存在します。これを教育するのは親の責任であり、社会の責任です。

少々発展させて、

①「一般常識」を含めて社会のルールを破ること

②弱いものをいじめること

は許されないという考え、生き方を身につければなりません。公共の観念（公共心）を持つことで、社会が円滑に流れるようになるでしょう。

例えば、

「コンビニの前でコンクリートに座り込んでいる中学生」

ここは公共の場であるということが分かっていません。注意すると「誰にも迷惑を掛けていないからいいじゃない」という屁理屈が返ってきます。大人には、それに明確に答えられる常識が問われています。

「誰でも出入りする公共の場でそのような行動を周りの人が見ただけで不快になる。十分に迷惑を掛けている。」のです。

「電車の中で化粧する高校生」

右に同じです。

これには「心得違い」もあります。「化粧」は何のためにするのか、ですね。人前に出るのに身を整える（身だしなみ）のであって、人前でする行為ではないですから、言い換えれば公衆の面前で着替えているのと同じことです。

「いじめ」の問題も自分一人で生きているのではないことがお互いの心に染みて分かれば・・・と思います。